

【表紙】

|            |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                              |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                  |
| 【提出先】      | 関東財務局長                              |
| 【提出日】      | 2023年8月10日                          |
| 【四半期会計期間】  | 第13期第1四半期（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日） |
| 【会社名】      | ウェルネオシュガー株式会社                       |
| 【英訳名】      | WELLNEO SUGAR Co., Ltd.             |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 山本 貢司                       |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区日本橋小網町14番1号                   |
| 【電話番号】     | 03（3668）1293                        |
| 【事務連絡者氏名】  | 執行役員 財務部担当 大場 健司                    |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都中央区日本橋小網町14番1号                   |
| 【電話番号】     | 03（3668）1293                        |
| 【事務連絡者氏名】  | 執行役員 財務部担当 大場 健司                    |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所<br>（東京都中央区日本橋兜町2番1号）    |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                                | 第12期<br>第1四半期<br>連結累計期間     | 第13期<br>第1四半期<br>連結累計期間     | 第12期                        |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間                              | 自 2022年4月1日<br>至 2022年6月30日 | 自 2023年4月1日<br>至 2023年6月30日 | 自 2022年4月1日<br>至 2023年3月31日 |
| 売上収益 (百万円)                        | 12,588                      | 22,517                      | 58,347                      |
| 税引前四半期利益又は税引前利益 (百万円)             | 672                         | 2,614                       | 1,804                       |
| 親会社の所有者に帰属する<br>四半期(当期)利益 (百万円)   | 428                         | 1,876                       | 1,062                       |
| 親会社の所有者に帰属する<br>四半期(当期)包括利益 (百万円) | 542                         | 2,244                       | 1,179                       |
| 親会社の所有者に帰属する持分 (百万円)              | 48,570                      | 69,242                      | 68,264                      |
| 資産合計 (百万円)                        | 62,909                      | 93,548                      | 93,572                      |
| 基本的1株当たり<br>四半期(当期)利益 (円)         | 19.38                       | 57.26                       | 43.26                       |
| 希薄化後1株当たり<br>四半期(当期)利益 (円)        | -                           | -                           | -                           |
| 親会社所有者帰属持分比率 (%)                  | 77.2                        | 74.0                        | 73.0                        |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)        | 788                         | 252                         | 1,625                       |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)        | 259                         | 190                         | 4,609                       |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー (百万円)        | 964                         | 1,408                       | 3,684                       |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末(期末)残高 (百万円)    | 7,213                       | 9,411                       | 11,263                      |

- (注) 1. 当社は要約四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 希薄化後1株当たり四半期(当期)利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
3. 上記指標は、国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)により作成された要約四半期連結財務諸表および連結財務諸表に基づいています。
4. 2023年1月1日付の伊藤忠製糖㈱との経営統合により、第13期第1四半期連結累計期間の連結経営指標等は第12期第1四半期連結累計期間と比較して大きく変動しています。

## 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は以下のとおりです。

（砂糖その他食品事業）

当第1四半期連結会計期間において、マーケットイン型の営業開発機能を強化し、機能性素材分野を拡大することを目的として、株式取得および第三者割当増資の引き受けにより、ツルヤ化成工業(株)を持分法適用会社としています。

（健康産業事業）

主要な異動はありません。

（倉庫事業）

主要な異動はありません。

この結果、当社グループは、当社、子会社11社および関連会社10社により構成されています。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当社は、2023年1月1日付の日新製糖㈱と伊藤忠製糖㈱の経営統合により、商号を「ウェルネオシュガー㈱」に変更し、持株会社体制に移行しました。このため、当第1四半期連結累計期間の主要な経営指標等の各計数は、前第1四半期連結累計期間と比較して大幅に変動しています。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され経済活動の正常化が進んできた一方で、ウクライナ情勢の影響によるエネルギーコスト高騰や世界的な金融引き締めを背景とした円安等の影響を受け、先行きは不透明な状況です。

当第1四半期連結累計期間の業績は、伊藤忠製糖㈱との経営統合および新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、売上収益は22,517百万円（前年同期比78.9%増）、営業利益は1,152百万円（同89.8%増）となりました。金融収益において、国内の投資先からの受取配当金1,304百万円を計上しました。以上の結果、税引前四半期利益は2,614百万円（同288.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,876百万円（同338.1%増）となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。なお、各セグメント利益は全社費用198百万円を含んでいません。

#### [砂糖その他食品事業]

海外原糖市況につきましては、1ポンド当たり22.35セントで始まり、主要生産国ブラジルで穀物の輸出増加による物流面での混乱懸念から上昇基調となった他、インドやタイでの干ばつによる減産懸念も広がり、4月下旬には今期高値となる27.41セントまで上昇しました。その後は、ブラジルで生産が順調に進んだこと等から、6月下旬に今期安値となる21.81セントまで下落した後、22.89セントで当第1四半期を終了しました。

#### 海外原糖市況（ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限））

|     | 日付         | セント/ポンド | 円/kg  | 為替（円/ドル） |
|-----|------------|---------|-------|----------|
| 始 値 | 2023年4月3日  | 22.35   | 66.10 | 134.15   |
| 高 値 | 2023年4月27日 | 27.41   | 81.41 | 134.72   |
| 安 値 | 2023年6月29日 | 21.81   | 69.89 | 145.35   |
| 終 値 | 2023年6月30日 | 22.89   | 73.67 | 145.99   |

（注）1ポンドは約0.4536kgとして換算し、為替は当日の三菱UFJ銀行直物為替公表TT Sによっています。

国内精糖市況（日本経済新聞掲載、東京）につきましては、前期末から変わらず上白糖1kg当たり227円～229円で当第1四半期を終了しました。

このような状況のもと、主力の砂糖につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により外食関係で回復が見られ、製パン、冷菓等の出荷は好調に推移しましたが、各種価格上昇による消費低迷により、出荷量全体では業務用、家庭用ともに減少しました。そのような中、独自製品のきび砂糖の出荷は好調に推移しました。売上収益につきましては、経営統合により伊藤忠製糖グループが新たに加わったこと、およびコスト上昇に対する売価への反映を進めたことにより、増加しました。利益面においては、伊藤忠製糖グループの利益が加わったこと、および有利な原料調達ができたとにより、大幅な増益となりました。

ツキオカフィルム製薬㈱につきましては、純金箔事業において新規受注が増加したこと等により増収増益となりました。

以上の結果、砂糖その他食品事業合計の売上収益は21,437百万円（前年同期比86.6%増）、セグメント利益は1,219百万円（同143.5%増）となりました。

[健康産業事業]

健康産業事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の５類移行によりフィットネスの会員数が緩やかに回復してきていること、および効率的な運営を継続していることから、売上収益は659百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

[倉庫事業]

倉庫事業につきましては、港湾運送において輸入合板の適正な在庫水準を維持した結果、取扱量が減少しました。売上収益は420百万円（前年同期比7.9%減）、セグメント利益は111百万円（同5.9%減）となりました。

（２）財政状態の状況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は34,419百万円となり、前連結会計年度末に比べ564百万円減少しました。これは主に棚卸資産が1,926百万円増加した一方で、現金及び現金同等物が1,852百万円、その他の金融資産が950百万円それぞれ減少したことによるものです。非流動資産は59,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ541百万円増加しました。これは主に使用権資産が165百万円、有形固定資産が161百万円それぞれ減少した一方で、持分法で会計処理されている投資が659百万円、その他の金融資産が202百万円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、資産合計は93,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少しました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は19,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ955百万円減少しました。これは主に営業債務及びその他の債務が949百万円減少したことによるものです。非流動負債は5,233百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が149百万円増加した一方で、リース負債が164百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は24,306百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,001百万円減少しました。

（資本）

当第１四半期連結会計期間末における資本合計は69,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ978百万円増加しました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益1,876百万円、税引後その他の包括利益368百万円および配当金の支払による減少1,212百万円によるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は74.0%（前連結会計年度末比1.0ポイント増）となりました。

### ( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より1,852百万円減少し、9,411百万円となりました。

当第 1 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

#### ( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動によるキャッシュ・フローは、252百万円の支出となりました。

主なものは、税引前四半期利益2,614百万円、減価償却費及び償却費607百万円、持分法による投資利益 133百万円、法人所得税の支払額 630百万円、ならびに棚卸資産の増加、営業債権及びその他の債権の増加、営業債務及びその他の債務の減少、その他の増減による 2,707百万円です。

なお、前年同期は788百万円の収入であり、主なものは、税引前四半期利益672百万円、減価償却費及び償却費407百万円、持分法による投資利益 29百万円、法人所得税の支払額 336百万円、ならびに棚卸資産の増加、営業債権及びその他の債権の増加、営業債務及びその他の債務の増加、その他の増減による75百万円です。

#### ( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動によるキャッシュ・フローは、190百万円の支出となりました。

主なものは、定期預金の純減額1,000百万円、有形固定資産及び無形資産の取得による支出 673百万円、ならびに持分法で会計処理されている投資の取得による支出 522百万円です。

なお、前年同期は259百万円の支出であり、主なものは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出 255百万円です。

#### ( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,408百万円の支出となりました。

これは、リース負債の返済による支出 224百万円、配当金の支払額 1,183百万円によるものです。

なお、前年同期は964百万円の支出であり、リース負債の返済による支出 238百万円、配当金の支払額 726百万円によるものです。

### ( 4 ) 重要性がある会計方針および見積り

要約四半期連結財務諸表の作成に当たって採用している重要性がある会計方針および見積りについての詳細は、「第 4 経理の状況 1 要約四半期連結財務諸表 要約四半期連結財務諸表注記 3 . 重要性がある会計方針」および同「 4 . 重要な会計上の見積り及び判断」に記載のとおりです。

### ( 5 ) 経営方針・経営戦略等

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

### ( 6 ) 優先的に対処すべき事業上および財務上の課題

当第 1 四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上および財務上の課題について重要な変更はありません。

### ( 7 ) 研究開発活動

当社は、2023年 6 月 1 日に社長直轄の機能性素材組織「ネオ機能性素材部」を新設し、日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱が保有する知見やリソースを集結させた研究開発の推進・積極投資を行っています。

なお、当第 1 四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、68百万円です。

### ( 8 ) 生産、受注及び販売の実績

当第 1 四半期連結累計期間において、砂糖その他食品事業の生産および販売実績が著しく増加しました。

これは主に、2023年 1 月 1 日付の経営統合により、伊藤忠製糖グループを新たに加えたことによるものです。

### 3【経営上の重要な契約等】

#### (1) 連結子会社による株式取得および第三者割当増資引受に関する決議

当社は、2023年4月13日開催の取締役会において、連結子会社の伊藤忠製糖㈱が、ツルヤ化成工業㈱の株式取得および第三者割当増資を引き受けることにより、同社の発行済株式総数の20.03%を取得することについて決議しました。なお、2023年5月1日付で伊藤忠製糖㈱は株式取得を完了し、同社を持分法適用会社としました。

#### (2) 連結子会社2社との吸収合併に関する決議

当社は、2023年5月26日開催の取締役会において、当社を存続会社として、2024年10月1日（予定）に当社の100%子会社である日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱を吸収合併（以下、「本合併」といいます。）することを基本方針に、今後必要な手続きを開始することを決議しました。

本合併の概要は、次のとおりです。

##### 本合併の目的

当社、日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱は、不確実性の高まる事業環境において、経営基盤を強固なものとし、適切なグループガバナンスのもとで迅速な意思決定を行い、シナジー効果を早期に発揮するとともに、業務効率化による収益力の向上を図り、成長分野への積極的な資源の投下を推し進め、一層の企業価値の向上を目指すため、本合併を実施することとしました。

##### 本合併の効力発生日

2024年10月1日（予定）

（注）本合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定される簡易合併、日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱においては会社法第784条第1項に規定される略式合併により、それぞれ合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行う予定です。

##### 本合併の方式

当社を存続会社とし、日新製糖㈱および伊藤忠製糖㈱を消滅会社とする吸収合併方式を前提としています。

##### 本合併に係る割当の内容

本合併による株式その他金銭等の交付はありません。

##### 本合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

##### 吸収合併存続会社となる会社の概要

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 名 称  | ウェルネオシュガー㈱                     |
| 所在地  | 東京都中央区日本橋小網町14番1号              |
| 代表者  | 代表取締役会長 仲野 真司<br>代表取締役社長 山本 貢司 |
| 事業内容 | グループ経営管理事業等                    |
| 資本金  | 7,000百万円                       |
| 決算期  | 3月31日                          |

吸収合併消滅会社となる会社の概要

名 称 日新製糖㈱  
 所在地 東京都中央区日本橋小網町14番 1 号  
 代表者 代表取締役社長 仲野 真司  
 事業内容 砂糖を中心とした砂糖その他食品の製造販売、フィットネスクラブの運営、冷蔵倉庫・港湾運送業、合成樹脂等の販売  
 資本金 100百万円  
 決算期 3 月31日

引継資産・負債の状況（2023年 3 月期・単体・日本基準）

| 資 産  | 金 額       | 負 債  | 金 額      |
|------|-----------|------|----------|
| 流動資産 | 13,845百万円 | 流動負債 | 3,941百万円 |
| 固定資産 | 20,494百万円 | 固定負債 | 865百万円   |
| 合 計  | 34,339百万円 | 合 計  | 4,807百万円 |

名 称 伊藤忠製糖㈱  
 所在地 愛知県碧南市玉津浦町 3 番地  
 代表者 代表取締役社長 山本 貢司  
 事業内容 砂糖および糖類ならびにその副産物の製造加工および販売その他、付帯する一切の事業  
 資本金 2,000百万円  
 決算期 3 月31日

引継資産・負債の状況（2023年 3 月期・単体・日本基準）

| 資 産  | 金 額       | 負 債  | 金 額       |
|------|-----------|------|-----------|
| 流動資産 | 13,348百万円 | 流動負債 | 10,632百万円 |
| 固定資産 | 4,994百万円  | 固定負債 | 2百万円      |
| 合 計  | 18,342百万円 | 合 計  | 10,634百万円 |



## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 90,000,000  |
| 計    | 90,000,000  |

## 【発行済株式】

| 種類   | 第1四半期会計期間末現在<br>発行数(株)<br>(2023年6月30日) | 提出日現在発行数(株)<br>(2023年8月10日) | 上場金融商品取引所名<br>又は登録認可金融商品<br>取引業協会名 | 内容            |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 35,053,483                             | 35,053,483                  | 東京証券取引所<br>(プライム市場)                | 単元株式数<br>100株 |
| 計    | 35,053,483                             | 35,053,483                  |                                    |               |

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日           | 発行済株式<br>総数増減数<br>(株) | 発行済株式<br>総数残高<br>(株) | 資本金増減額<br>(百万円) | 資本金残高<br>(百万円) | 資本準備金<br>増減額<br>(百万円) | 資本準備金<br>残高<br>(百万円) |
|---------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|----------------------|
| 2023年6月30日(注) |                       | 35,053,483           |                 | 7,000          | 23,063                | 1,750                |

(注) 会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を減少し、その他資本剰余金へ振り替えたものです。

## (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

( 6 ) 【議決権の状況】

当第 1 四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2023年 3 月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2023年 6 月30日現在

| 区分             | 株式数（株）          | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式（自己株式等） | -               | -        | -  |
| 議決権制限株式（その他）   | -               | -        | -  |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 2,292,500  | -        | -  |
| 完全議決権株式（その他）   | 普通株式 32,702,200 | 327,022  | -  |
| 単元未満株式         | 普通株式 58,783     | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 35,053,483      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -               | 327,022  | -  |

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式30株が含まれています。

【自己株式等】

2023年 6 月30日現在

| 所有者の氏名<br>又は名称 | 所有者の住所                 | 自己名義<br>所有株式数<br>（株） | 他人名義<br>所有株式数<br>（株） | 所有株式数<br>の合計<br>（株） | 発行済株式総数に<br>対する所有株式数<br>の割合（％） |
|----------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| ウェルネオシュガー株式会社  | 東京都中央区<br>日本橋小網町14 - 1 | 2,292,500            | -                    | 2,292,500           | 6.54                           |
| 計              | -                      | 2,292,500            | -                    | 2,292,500           | 6.54                           |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2023年4月1日から2023年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けています。

1 【要約四半期連結財務諸表】

( 1 ) 【要約四半期連結財政状態計算書】

( 単位：百万円 )

|                 | 注記 | 前連結会計年度<br>( 2023年 3 月31日 ) | 当第 1 四半期連結会計期間<br>( 2023年 6 月30日 ) |
|-----------------|----|-----------------------------|------------------------------------|
| 資産              |    |                             |                                    |
| 流動資産            |    |                             |                                    |
| 現金及び現金同等物       |    | 11,263                      | 9,411                              |
| 営業債権及びその他の債権    |    | 7,446                       | 7,564                              |
| その他の金融資産        | 9  | 1,025                       | 74                                 |
| 棚卸資産            |    | 14,614                      | 16,541                             |
| その他の流動資産        |    | 633                         | 826                                |
| 流動資産合計          |    | 34,983                      | 34,419                             |
| 非流動資産           |    |                             |                                    |
| 有形固定資産          |    | 18,403                      | 18,242                             |
| 使用権資産           |    | 2,785                       | 2,619                              |
| のれん             |    | 14,280                      | 14,280                             |
| 無形資産            |    | 411                         | 434                                |
| 持分法で会計処理されている投資 |    | 14,112                      | 14,772                             |
| その他の金融資産        | 9  | 6,627                       | 6,830                              |
| 退職給付に係る資産       |    | 366                         | 355                                |
| 繰延税金資産          |    | 144                         | 138                                |
| 営業債権及びその他の債権    |    | 10                          | 11                                 |
| その他の非流動資産       |    | 1,446                       | 1,444                              |
| 非流動資産合計         |    | 58,588                      | 59,129                             |
| 資産合計            |    | 93,572                      | 93,548                             |

(単位：百万円)

|                  | 注記 | 前連結会計年度<br>(2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間<br>(2023年6月30日) |
|------------------|----|-------------------------|------------------------------|
| 負債及び資本           |    |                         |                              |
| 負債               |    |                         |                              |
| 流動負債             |    |                         |                              |
| 借入金              |    | 9,000                   | 9,000                        |
| 営業債務及びその他の債務     |    | 6,789                   | 5,839                        |
| リース負債            |    | 890                     | 846                          |
| その他の金融負債         |    | 516                     | 272                          |
| 未払法人所得税等         |    | 406                     | 466                          |
| 引当金              |    | 20                      | 20                           |
| その他の流動負債         |    | 2,404                   | 2,627                        |
| 流動負債合計           |    | 20,028                  | 19,072                       |
| 非流動負債            |    |                         |                              |
| 営業債務及びその他の債務     |    | 0                       | 0                            |
| リース負債            |    | 2,718                   | 2,554                        |
| その他の金融負債         |    | 101                     | 99                           |
| 退職給付に係る負債        |    | 327                     | 298                          |
| 引当金              |    | 507                     | 508                          |
| 繰延税金負債           |    | 1,565                   | 1,714                        |
| その他の非流動負債        |    | 58                      | 58                           |
| 非流動負債合計          |    | 5,279                   | 5,233                        |
| 負債合計             |    | 25,308                  | 24,306                       |
| 資本               |    |                         |                              |
| 資本金              |    | 7,000                   | 7,000                        |
| 資本剰余金            |    | 34,687                  | 34,690                       |
| 自己株式             |    | 3,534                   | 3,534                        |
| その他の資本の構成要素      |    | 1,546                   | 1,858                        |
| 利益剰余金            |    | 28,563                  | 29,227                       |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 |    | 68,264                  | 69,242                       |
| 資本合計             |    | 68,264                  | 69,242                       |
| 負債及び資本合計         |    | 93,572                  | 93,548                       |

( 2 ) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

|                       | 注記   | 前第 1 四半期連結累計期間<br>( 自 2022年 4 月 1 日<br>至 2022年 6 月30日 ) | 当第 1 四半期連結累計期間<br>( 自 2023年 4 月 1 日<br>至 2023年 6 月30日 ) |
|-----------------------|------|---|---|
| 売上収益                  | 5, 7 | 12, 588   | 22, 517   |
| 売上原価                  |      | 10, 338   | 18, 817   |
| 売上総利益                 |      | 2, 249  | 3, 700  |
| 販売費及び一般管理費            |      | 1, 642  | 2, 552  |
| その他の収益                |      | 2   | 21  |
| その他の費用                |      | 3   | 16  |
| 営業利益                  | 5    | 607   | 1, 152  |
| 金融収益                  |      | 56  | 1, 355  |
| 金融費用                  |      | 20  | 26  |
| 持分法による投資利益            |      | 29  | 133   |
| 税引前四半期利益              |      | 672   | 2, 614  |
| 法人所得税費用               |      | 244   | 738   |
| 四半期利益                 |      | 428   | 1, 876  |
| 四半期利益の帰属              |      |   |   |
| 親会社の所有者               |      | 428   | 1, 876  |
| 非支配持分                 |      | -   | -   |
| 四半期利益                 |      | 428   | 1, 876  |
| 1 株当たり四半期利益           |      |   |   |
| 基本的 1 株当たり四半期利益 ( 円 ) | 8    | 19. 38  | 57. 26  |

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

| 注記                            | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 四半期利益                         | 428   | 1,876   |
| その他の包括利益                      |   |   |
| 純損益に振り替えられることのない項目            |   |   |
| その他の包括利益を通じて公正価値<br>で測定する金融資産 | 12  | 141   |
| 純損益に振り替えられることのない<br>項目合計      | 12  | 141   |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目           |   |   |
| キャッシュ・フロー・ヘッジ                 | 101   | 227   |
| 純損益に振り替えられる可能性のある<br>項目合計     | 101   | 227   |
| 税引後その他の包括利益                   | 113   | 368   |
| 四半期包括利益                       | 542   | 2,244   |
| 四半期包括利益の帰属                    |   |   |
| 親会社の所有者                       | 542   | 2,244   |
| 非支配持分                         | -   | -   |
| 四半期包括利益                       | 542   | 2,244   |

( 3 ) 【要約四半期連結持分変動計算書】

前第 1 四半期連結累計期間(自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 6 月30日)

( 単位：百万円 )

| 注記                     | 親会社の所有者に帰属する持分 |        |      |               |                           |
|------------------------|----------------|--------|------|---------------|---------------------------|
|                        | 資本金            | 資本剰余金  | 自己株式 | その他の資本の構成要素   |                           |
|                        |                |        |      | キャッシュ・フロー・ヘッジ | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 |
| 2022年 4 月 1 日時点の残高     | 7,000          | 11,614 | 292  | 35            | 1,453                     |
| 四半期利益                  | -              | -      | -    | -             | -                         |
| その他の包括利益               | -              | -      | -    | 101           | 12                        |
| 四半期包括利益合計              | -              | -      | -    | 101           | 12                        |
| 自己株式の取得                | -              | -      | -    | -             | -                         |
| 配当金 6                  | -              | -      | -    | -             | -                         |
| 株式報酬取引                 | -              | 3      | -    | -             | -                         |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | -              | -      | -    | -             | 0                         |
| 非金融資産への振替              | -              | -      | -    | 128           | -                         |
| 所有者との取引額合計             | -              | 3      | -    | 128           | 0                         |
| 2022年 6 月30日時点の残高      | 7,000          | 11,618 | 292  | 8             | 1,466                     |

|                            | 注記 | 親会社の所有者に帰属する持分 |       |        | 合計     |        |
|----------------------------|----|----------------|-------|--------|--------|--------|
|                            |    | その他の資本の構成要素    |       | 利益剰余金  |        |        |
|                            |    | 確定給付制度<br>の再測定 | 合計    |        |        |        |
| 2022年 4 月 1 日時点の残高         |    | -              | 1,488 | 29,093 | 48,904 | 48,904 |
| 四半期利益                      |    | -              | -     | 428    | 428    | 428    |
| その他の包括利益                   |    | -              | 113   | -      | 113    | 113    |
| 四半期包括利益合計                  |    | -              | 113   | 428    | 542    | 542    |
| 自己株式の取得                    |    | -              | -     | -      | -      | -      |
| 配当金                        | 6  | -              | -     | 751    | 751    | 751    |
| 株式報酬取引                     |    | -              | -     | -      | 3      | 3      |
| その他の資本の構成要素<br>から利益剰余金への振替 |    | -              | 0     | 0      | -      | -      |
| 非金融資産への振替                  |    | -              | 128   | -      | 128    | 128    |
| 所有者との取引額合計                 |    | -              | 128   | 751    | 875    | 875    |
| 2022年 6 月30日時点の残高          |    | -              | 1,474 | 28,770 | 48,570 | 48,570 |



当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

| 注記                     | 親会社の所有者に帰属する持分 |        |       |               |                           |
|------------------------|----------------|--------|-------|---------------|---------------------------|
|                        | 資本金            | 資本剰余金  | 自己株式  | その他の資本の構成要素   |                           |
|                        |                |        |       | キャッシュ・フロー・ヘッジ | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 |
| 2023年4月1日時点の残高         | 7,000          | 34,687 | 3,534 | 12            | 1,559                     |
| 四半期利益                  | -              | -      | -     | -             | -                         |
| その他の包括利益               | -              | -      | -     | 227           | 141                       |
| 四半期包括利益合計              | -              | -      | -     | 227           | 141                       |
| 自己株式の取得                | -              | -      | -     | -             | -                         |
| 配当金                    | -              | -      | -     | -             | -                         |
| 株式報酬取引                 | -              | 2      | -     | -             | -                         |
| その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替 | -              | -      | -     | -             | -                         |
| 非金融資産への振替              | -              | -      | -     | 57            | -                         |
| 所有者との取引額合計             | -              | 2      | -     | 57            | -                         |
| 2023年6月30日時点の残高        | 7,000          | 34,690 | 3,534 | 157           | 1,700                     |

|                            |                | 親会社の所有者に帰属する持分 |        |        |        |  |
|----------------------------|----------------|----------------|--------|--------|--------|--|
| 注記                         | その他の資本の構成要素    |                | 利益剰余金  | 合計     | 合計     |  |
|                            | 確定給付制度<br>の再測定 | 合計             |        |        |        |  |
| 2023年 4 月 1 日時点の残高         | -              | 1,546          | 28,563 | 68,264 | 68,264 |  |
| 四半期利益                      | -              | -              | 1,876  | 1,876  | 1,876  |  |
| その他の包括利益                   | -              | 368            | -      | 368    | 368    |  |
| 四半期包括利益合計                  | -              | 368            | 1,876  | 2,244  | 2,244  |  |
| 自己株式の取得                    | -              | -              | -      | -      | -      |  |
| 配当金                        | 6              | -              | 1,212  | 1,212  | 1,212  |  |
| 株式報酬取引                     | -              | -              | -      | 2      | 2      |  |
| その他の資本の構成要素<br>から利益剰余金への振替 | -              | -              | -      | -      | -      |  |
| 非金融資産への振替                  | -              | 57             | -      | 57     | 57     |  |
| 所有者との取引額合計                 | -              | 57             | 1,212  | 1,266  | 1,266  |  |
| 2023年 6 月30日時点の残高          | -              | 1,858          | 29,227 | 69,242 | 69,242 |  |

( 4 ) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

( 単位：百万円 )

|                          | 注記 | 前第 1 四半期連結累計期間<br>( 自 2022年 4 月 1 日<br>至 2022年 6 月30日 ) | 当第 1 四半期連結累計期間<br>( 自 2023年 4 月 1 日<br>至 2023年 6 月30日 ) |
|--------------------------|----|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>  |    |   |   |
| 税引前四半期利益                 |    | 672   | 2,614   |
| 減価償却費及び償却費               |    | 407   | 607   |
| 金融収益                     |    | 56  | 1,355   |
| 金融費用                     |    | 20  | 26  |
| 持分法による投資損益 ( は益 )        |    | 29  | 133   |
| 棚卸資産の増減額 ( は増加 )         |    | 1,339   | 1,931   |
| 営業債権及びその他の債権の増減額 ( は増加 ) |    | 547   | 116   |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 ( は減少 ) |    | 1,410   | 608   |
| その他                      |    | 552   | 51  |
| 小計                       |    | 1,090   | 947   |
| 利息及び配当金の受取額              |    | 47  | 1,347   |
| 利息の支払額                   |    | 12  | 22  |
| 法人所得税の支払額                |    | 336   | 630   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー         |    | 788   | 252   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>  |    |   |   |
| 定期預金の純増減額 ( は増加 )        |    | -   | 1,000   |
| 有形固定資産及び無形資産の取得による支出     |    | 255   | 673   |
| 有形固定資産の除却による支出           |    | 3   | 2   |
| 投資の取得による支出               |    | 3   | 5   |
| 持分法で会計処理されている投資の取得による支出  |    | -   | 522   |
| 投資の売却、償還による収入            |    | 4   | -   |
| その他                      |    | 1   | 11  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー         |    | 259   | 190   |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>  |    |   |   |
| リース負債の返済による支出            |    | 238   | 224   |
| 配当金の支払額                  |    | 726   | 1,183   |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー         |    | 964   | 1,408   |
| 現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )    |    | 435   | 1,852   |
| 現金及び現金同等物の期首残高           |    | 7,649   | 11,263  |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高         |    | 7,213   | 9,411   |

【要約四半期連結財務諸表注記】

1. 報告企業

ウェルネオシュガー株式会社（以下、「当社」という。）は日本に所在する企業です。その登記されている本社および主要な事業所の住所は当社ウェブサイト（URL <https://www.wellneo-sugar.co.jp/>）で開示しています。2023年6月30日に終了する第1四半期の要約四半期連結財務諸表は、当社およびその子会社（以下、「当社グループ」という。）、ならびに当社の関連会社および共同支配企業に対する持分により構成されています。

当社グループの事業内容および主要な活動は、注記「5. セグメント情報」に記載しています。

2. 作成の基礎

(1) I F R S に準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

要約四半期連結財務諸表は、年次連結財務諸表で要求されている全ての情報が含まれていないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

本要約四半期連結財務諸表は、2023年8月10日に代表取締役社長山本貢司によって承認されています。

(2) 機能通貨および表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しています。

3. 重要性がある会計方針

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しています。

| I F R S    |       | 新設・改訂の概要                   |
|------------|-------|----------------------------|
| I A S 第12号 | 法人所得税 | リースおよび廃棄義務に係る繰延税金の会計処理を明確化 |

上記基準書の適用による要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

4. 重要な会計上の見積り及び判断

I F R S に準拠した要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用ならびに資産、負債、収益および費用の金額に影響を及ぼす判断、見積りおよび仮定の設定を行っています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

重要な会計上の見積りおよびその基礎となる仮定は継続して見直しています。会計上の見積りの見直しによる影響は、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、見積りを見直した会計期間およびそれ以降の将来の会計期間において認識しています。なお、依然として新型コロナウイルス感染症への警戒感は続くものの、その影響は落ち着きを見せはじめ、国内の経済活動は徐々に改善するものとして、将来キャッシュ・フローを算定しています。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える判断および見積りは、上記の新型コロナウイルス感染症の影響を含め、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様です。

## 5. セグメント情報

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループはサービス内容・経済的特徴を考慮したうえで事業セグメントを集約し、「砂糖その他食品事業」、「健康産業事業」、「倉庫事業」を報告セグメントとしています。

「砂糖その他食品事業」においては、主に砂糖の製造・販売を中心として、甘味料やその他の食品の販売を行っています。また、「健康産業事業」においては、主に総合フィットネスクラブ「ドゥ・スポーツプラザ」、「スポーツクラブエンターテインメントA-1」と女性専用のホットヨガ&コラーゲンスタジオ「BLEDA(ブレダ)」ならびにコンパクトジム「DO SMART(ドゥ・スマート)」、「A-1 EXPRESS」、「A-1 Light GYM 24」を運営しており、「倉庫事業」においては、主に冷蔵倉庫を保有し、保管・荷役・港湾運送業務を行っています。

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益および業績は以下のとおりです。

セグメント間の内部収益および振替高は市場価格を勘案して決定しています。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

|            | 報告セグメント |      |     |        | 調整額 | 連結     |
|------------|---------|------|-----|--------|-----|--------|
|            | 砂糖その他食品 | 健康産業 | 倉庫  | 計      |     |        |
|            | 百万円     | 百万円  | 百万円 | 百万円    | 百万円 | 百万円    |
| 売上収益       |         |      |     |        |     |        |
| 外部収益       | 11,490  | 641  | 456 | 12,588 | -   | 12,588 |
| セグメント間収益   | 9       | 0    | 27  | 37     | 37  | -      |
| 合計         | 11,500  | 641  | 484 | 12,626 | 37  | 12,588 |
| セグメント利益    | 500     | 11   | 118 | 607    | -   | 607    |
| 又は損失( )(注) |         |      |     |        |     |        |
| 金融収益       | -       | -    | -   | -      | -   | 56     |
| 金融費用       | -       | -    | -   | -      | -   | 20     |
| 持分法による投資利益 | -       | -    | -   | -      | -   | 29     |
| 税引前四半期利益   | -       | -    | -   | -      | -   | 672    |

(注) セグメント利益又は損失( )は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

|              | 報告セグメント |      |     |        | 調整額<br>(注) 2 | 連結     |
|--------------|---------|------|-----|--------|--------------|--------|
|              | 砂糖その他食品 | 健康産業 | 倉庫  | 計      |              |        |
|              | 百万円     | 百万円  | 百万円 | 百万円    | 百万円          | 百万円    |
| 売上収益         |         |      |     |        |              |        |
| 外部収益         | 21,437  | 659  | 420 | 22,517 | -            | 22,517 |
| セグメント間収益     | 8       | 0    | 27  | 36     | 36           | -      |
| 合計           | 21,445  | 659  | 448 | 22,553 | 36           | 22,517 |
| セグメント利益      | 1,219   | 20   | 111 | 1,351  | 198          | 1,152  |
| 又は損失( )(注) 1 |         |      |     |        |              |        |
| 金融収益         | -       | -    | -   | -      | -            | 1,355  |
| 金融費用         | -       | -    | -   | -      | -            | 26     |
| 持分法による投資利益   | -       | -    | -   | -      | -            | 133    |
| 税引前四半期利益     | -       | -    | -   | -      | -            | 2,614  |

(注) 1. セグメント利益又は損失( )は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 2023年1月1日付で当社グループは持株会社体制へ移行しました。セグメント利益又は損失の調整額は、持株会社に帰属する全社費用です。なお、持株会社に帰属する全社費用は、グループ管理費用等です。

## 6. 配当金

配当金の支払額は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>百万円 | 1株当たり配当額<br>円 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|---------------|---------------|------------|------------|
| 2022年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 751           | 34            | 2022年3月31日 | 2022年6月29日 |

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額<br>百万円 | 1株当たり配当額<br>円 | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|---------------|---------------|------------|------------|
| 2023年6月28日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 1,212         | 37            | 2023年3月31日 | 2023年6月29日 |

(注) 1株当たり配当額37円には、経営統合に伴う記念配当額7円を含んでいます。

## 7. 売上収益

分解した収益については、注記「5. セグメント情報」に記載しています。

## 8. 1株当たり利益

基本的1株当たり四半期利益の算定上の基礎は以下のとおりです。

|                        | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年6月30日) |
|------------------------|---|---|
| 親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円) | 428   | 1,876   |
| 加重平均普通株式数(株)           | 22,095,770                                    | 32,760,953                                    |
| 基本的1株当たり四半期利益(円)       | 19.38   | 57.26   |

(注) 希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 9. 金融商品の公正価値

### (1) 公正価値の算定方法

当要約四半期連結財務諸表において使用する金融商品の公正価値の算定方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において使用した算定方法と同一です。

### (2) 公正価値ヒエラルキーのレベル別分類

当社グループにおける公正価値の測定レベルは、市場における観察可能性に応じて次の3つに区分しています。

レベル1：活発に取引される市場で公表価格により測定された公正価値

レベル2：レベル1以外の、観察可能な価格を直接、または間接的に使用して算定された公正価値

レベル3：観察不能なインプットを含む評価技法から算定された公正価値

当社グループは、各ヒエラルキー間の振替を、振替を生じさせた事象が発生した各四半期連結会計期間末日において認識しています。

金融商品の公正価値ヒエラルキーのレベル別の内訳は、以下のとおりです。  
前連結会計年度（2023年3月31日）

|                           | レベル1  | レベル2 | レベル3  | 合計    |
|---------------------------|-------|------|-------|-------|
|                           | 百万円   | 百万円  | 百万円   | 百万円   |
| 資産：                       |       |      |       |       |
| 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産      |       |      |       |       |
| その他の金融資産                  | -     | 121  | 33    | 154   |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 |       |      |       |       |
| 株式及び出資金                   | 3,174 | -    | 2,330 | 5,504 |
| ヘッジ会計を適用しているデリバティブ金融資産    | -     | 25   | -     | 25    |
| 合計                        | 3,174 | 146  | 2,363 | 5,684 |

当第1四半期連結会計期間（2023年6月30日）

|                           | レベル1  | レベル2 | レベル3  | 合計    |
|---------------------------|-------|------|-------|-------|
|                           | 百万円   | 百万円  | 百万円   | 百万円   |
| 資産：                       |       |      |       |       |
| 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産      |       |      |       |       |
| その他の金融資産                  | -     | 124  | 20    | 144   |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 |       |      |       |       |
| 株式及び出資金                   | 3,382 | -    | 2,338 | 5,721 |
| ヘッジ会計を適用しているデリバティブ金融資産    | -     | 74   | -     | 74    |
| 合計                        | 3,382 | 199  | 2,358 | 5,940 |

### (3) 評価プロセス

レベル3に分類した金融商品については、当社グループで定めた公正価値測定の評価方針および手続に従い、評価担当者が、公正価値を測定しています。また、公正価値の測定結果については適切な責任者が承認しています。

レベル3に分類した非上場株式は、類似企業比較法および純資産に基づく評価モデル等により、公正価値を測定しています。

レベル3に分類した金融商品の期首から期末までの変動は、以下のとおりです。

なお、各第1四半期連結累計期間において、レベル1、2および3の間の移動はありません。

|              | 前第1四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間<br>(自 2023年4月1日<br>至 2023年6月30日) |
|--------------|---|---|
|              | 百万円   | 百万円   |
| 期首残高         | 2,340   | 2,363   |
| 利得及び損失合計     | 55  | 8   |
| 純損益(注)1      | 0   | 0   |
| その他の包括利益(注)2 | 55  | 8   |
| 売却または解約      | -   | 13  |
| 期末残高         | 2,284   | 2,358   |

(注)1. 要約四半期連結損益計算書の「金融費用」に含まれています。

2. 要約四半期連結包括利益計算書の「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に含まれていません。

10．後発事象

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年 8月10日

ウェルネオシュガー株式会社

取締役会 御中

東 陽 監 査 法 人  
東京事務所

指 定 社 員 公認会計士 佐山 正則  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 井澤 浩昭  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 大島 充史  
業 務 執 行 社 員

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウェルネオシュガー株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2023年4月1日から2023年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条により規定された国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、ウェルネオシュガー株式会社及び連結子会社の2023年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 要約四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

要約四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき要約四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 要約四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、要約四半期連結財務諸表において、国際会計基準第1号「財務諸表の表示」第4項に基づき、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において要約四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する要約四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、要約四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・要約四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた要約四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに要約四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、要約四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しています。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。